

全国学力学習状況調査結果の分析と今後の学習指導

今年度、4月18日に行いました『全国学力・学習状況調査』の結果について、分析と今後の指導の方向をお知らせします。全国平均と比べ高い・低いという見方だけではなく、全体的な傾向をつかみながら、個々の生徒に寄り添った分析を心がけ、指導を積み重ねてきています。また、見えてきた課題について、今後の方向もお知らせします。

ご家庭においても、生徒の学力向上をどのように図っていったらよいか、一緒に考えていただければと思います。 *全国平均との比較 ◎ (大きく上回る) ○ (ほぼ同じ) △ (大きく下回る)



【国語A:主として知識理解より】 **多くの文章を読み、書く際に活用できる力をつけましょう!**

平均正答率	○			
領域別	話す・聞く	書く	読む	言語
全国との比較	○	○	○	○

Aの知識を見る問題では、すべての領域において全国平均とほぼ同じでした。説明的な文章において、筆者が自分の主張を述べるために、どのような構成で文章を書いているかを捉える力にやや弱さが見られました。多くの文章を読み、また文章と文章との関係性を考える授業を通して、関連思考を高めていきたいと思ひます。



【国語B:主として活用から】 **自分の考えを書く活動を増やしていきましょう!**

平均正答率	○			
領域別	話す・聞く	書く	読む	言語
全国との比較	○	○	○	○

Bの活用を見る問題では、すべての領域において全国平均とほぼ同じでした。指定された条件をもとに考えを書く力は高いこと、構成をとらえる力、概観する力に課題があることが分かりました。

一方、全国と比較したときには正答率が高く、授業での話し合う活動や定期テスト等で毎回出題していることが、力がついてきている一因になっていると考えられます。今後も継続していきたいと思ひます。



【数学A:主として知識理解より】 **「週末プリント」で基礎的な力を定着させていきましょう!**

平均正答率	◎			
領域別	数と式	図形	関数	資料の活用
全国との比較	○	○	◎	◎

Aの知識をみる問題では、すべての領域で全国平均とほぼ同じ、または上回る結果となりました。

特に関数の力がついてきています。これは、生徒が授業で考え合ったり、実施してきている「週末プリント」を頑張ったりしていることが、この結果につながっていると思ひられます。

一方、図形の領域では課題もみえました。おうぎ形の中心角と弧の長さの関係を問う基本的な問題です。解くために2つ以上の過程を経る問題でした。週末プリント等でも確認していく必要があると思ひます。



【数学B:主として活用から】 **解決方法を振り返ることを大切にしていきたい!**

平均正答率	○			
領域別	数と式	図形	関数	資料の活用
全国との比較	○	○	○	◎

Bの活用をみる問題では、すべての領域で全国平均とほぼ同じ、また上回る結果となりました。

ある問題に対して一方からの見方をして問題を解くことはできませんが、条件が変わったり逆方向からの見方をして問題を解く力や与えられた条件から必要な情報を読み取ったり、必要のない情報を除いて考えたりする力がやや不足していることが分かりました。

授業の中で意識的に逆方向からのアプローチを取り入れたり、必要な情報とそうでない情報を分けて考えさせる場面を設定していきたいと思ひます。



【生活面について】 **ゲーム、スマホ、SNSについて考えていきましょう!**

昨年度に比べ、「テレビやビデオ、DVDを見る時間」は減少した一方、「インターネットやゲームをする時間」が増加という結果になりました。ネットについては、10月末に行われたPTA講演会で「インターネットの安全な利用」について警察の方からお話を聞いています。ゲーム、スマホ、SNS等、今本当に必要な物なのかについて、もう一度各家庭で話し合ってくださいようよろしくお願いいたします。



【心情面について】 **開かれた人間関係を築きながら、思いやりの心を育てましょう!**

「いじめ」に関しては、してはいけないという認識が上がってきています。年2回の人権教育強調週間や週1回の道徳の授業を充実させて、人の心の痛みがわかる人権感覚を高めていきたいと思ひます。

学級みんなで「協力して行うこと」や「何かをやりきること」の良さを経験している生徒が増えているのはいい傾向です。生徒会活動や全校行事などを通して、普段あまり関わりのない異なる学年の生徒とも共同の作業や話し合いをしながら、新しい人間関係を築いていくことも引き続き大切に考えていきます。

